

プログラム2 「Yawaragi プログラム」

学部等名	学部共通
目 的	社会を生き抜く力を身に付ける
プログラムの概要	本プログラムは、本学の教養基礎科目で開講されている人文科学、社会科学、自然科学、複合領域の分野を総合的に学ぶことで、社会を生き抜く力を身に付けます。
プログラムの総時間数	157.5 時間
修了に要する時間数	67.5 時間以上
定 員	5 名
修了要件	7 科目の中から 3 科目以上を履修すること
申込先	羽島教務課(羽島キャンパス 7 号館 1 階)
履 修 料	検定料 5,000 円、科目履修料 2,500 円×単位数

修了要件受講科目一覧

授業科目名	日本文化論 「ことばと文化のむすびつき」	担当教員名	濱中 誠
授業の方法	講義 22.5 時間(15 週にわたり週 1 回 90 分受講)		
キャンパス	羽島キャンパス	必修・選択	選択科目
単位数	2 単位 (¥5,000)	開講期	前期・後期
授業内容	<p>【到達目標及びテーマ】 ことばと文化との間には強いむすびつきがあるということを理解することが目標です。そのために、ことばに関する興味深い事象をいくつか紹介してみたいと思います。後半は、ことばや文化がどのように伝播するのかについて見ていきます。「方言学」のもっとも基礎的な概念を理解した上で、身近なことばである方言を学ぶことにどのような意味があるのか、自分なりの答えを探してほしいと思います。</p> <p>【授業の概要】 ことばと文化のむすびつきを理解するために、言語学や方言学のもっとも基礎的な考え方について説明します。ことばとはどういうものなのか、方言を研究するということがどのような意味があるのかについて考えていきましょう。</p>		
授業科目名	災害と危機管理 「災害とボランティア」	担当教員名	森田 匡俊
授業の方法	講義 22.5 時間(15 週にわたり週 1 回 90 分受講)		
キャンパス	羽島キャンパス	必修・選択	選択科目
単位数	2 単位 (¥5,000)	開講期	前期・後期
授業内容	<p>【到達目標及びテーマ】 自然災害の発生メカニズムを正しく理解すること、災害発生時に被害を最小限に食い止めるための応急対策術を身につけること、災害発生に備えた日ごろからの取り組みを学修することを到達目標とする。日本で発生する自然災害を主に取り上げ、それらの発生メカニズムや対策を本講義のテーマとする。</p> <p>【授業の概要】 本講義では自然災害と、それに対する予防・回避と発生した際の損害を最小限に食い止める危機管理について学ぶ。前半部では、世界各地の気候や地形などの地理的特徴を学習し、そこでみられる大雨、暴風や竜巻に伴う風水害、雪害、森林火災、干ばつ、地震、火山噴火、土砂災害などについて、成因を含めて具体的事例をもとに考察する。</p>		

	後半部では、それらに対する危機管理について、地域での対策、住民意識、救急看護の現場、ボランティア活動の実態、学校での防災対策などについて考察を進める。		
授業科目名	心理学概論 「心の仕組みを考える」	担当教員名	蔵富 恵
授業の方法	講義 22.5 時間(15 週にわたり週 1 回 90 分受講)		
キャンパス	羽島キャンパス	必修・選択	選択科目
単位数	2 単位 (¥5,000)	開講期	前期・後期
授業内容	<p>【到達目標及びテーマ】</p> <p>① 心理学の成り立ち及び人の心の生理学的基礎について概説できる。② 人の感覚・知覚、記憶、学習、感情などの基本的なしくみ及び働きを理解し、心理学用語を用いて説明ができる。③ 発達、社会および臨床心理学の領域について、人の心の基本的な仕組み及び働きを学習し、心理学用語を用いて説明ができる。</p> <p>【授業の概要】</p> <p>心理学は心の問題を扱うもっとも中心的な学問であるが、心をどのようにとらえるかは、同じ心理学でも領域によってさまざまである。そこで本授業は、心理学でのさまざまな“心の見方”を概観しながら、人の心理についての理解を深めることを目指す。そして心理学における基礎知識やものの考え方を身につけることを目標とする。</p>		
授業科目名	健康科学 「子どもの健康と教育」	担当教員名	西田 倫子
授業の方法	講義 22.5 時間(15 週にわたり週 1 回 90 分受講)		
キャンパス	羽島キャンパス	必修・選択	選択科目
単位数	2 単位 (¥5,000)	開講期	後期
授業内容	<p>【到達目標及びテーマ】</p> <p>今日的な健康課題を理解し、健康課題解決に向けての健康教育が実践できる力を育てる。</p> <p>【授業の概要】</p> <p>WHO の健康の定義に依拠して考えた時、我が国の子供達は健康と言えるのだろうか。子供の問題行動や子供を取り巻く環境における問題から健康課題を明らかにし、健康課題解決に向けての健康教育のあり方を追究します。</p>		
授業科目名	岐阜学 「岐阜を知る」	担当教員名	秋山 晶則
授業の方法	講義 22.5 時間(15 週にわたり週 1 回 90 分受講)		
キャンパス	羽島キャンパス	必修・選択	選択科目
単位数	2 単位 (¥5,000)	開講期	前期・後期
授業内容	<p>【到達目標及びテーマ】</p> <p>地域社会の存続が危ぶまれるなか、各地で地域歴史遺産を活かした地域づくりの取組が進められている。その前提となるのが、歴史文化への理解であろう。本講では、キャンパスが立地するエリアを中心に、関連する史料を批判的に読み解きながら、地域の歴史文化を理解する確かな視点を持つことを目標とする。</p> <p>【授業の概要】</p> <p>日本の中央部に位置する岐阜県は、1876 (明治 9) 年、飛騨国と美濃国を統合して成立した。県域は、「飛山濃水」という言葉に象徴されるように、対照的な自然環境を有し、そのもとで過去から現在へと、個性的な政治や社会、文化が営まれてきた。このような地域理解をベースに、講義では、古代から近現代に至る岐阜・西濃の歴史・文化を中心に、具体的な史料に即して地域の特質を探っていく。</p>		
授業科目名	法学	担当教員名	吉田 夏彦

授業の方法	講義 22.5 時間(15 週にわたり週 1 回 90 分受講)		
キャンパス	岐阜キャンパス	必修・選択	選択科目
単位数	2 単位 (¥5,000)	開講期	前期
授業内容	<p>【到達目標及びテーマ】</p> <p>(1) 法律というものが私たちの生活に深く関わっているものであることを理解した上で、現実の社会が抱えるさまざまな問題につき、法律的なものの考え方ができる。</p> <p>(2) 法学、憲法に関する総合的な知識の習得を目指すとともに、主権の担い手である国民として、わが国の政治のあり方について理解を深める。</p> <p>【授業の概要】</p> <p>(1) 一般に難しいと考えられている法律の基礎的な概念を、具体的な事例を豊富に挙げて、できる限り分かりやすく解説する。</p> <p>(2) 日本国憲法の基本原理である、国民主権主義、基本的人権尊重主義、恒久平和主義を解説する。</p> <p>(3) 日本国憲法が規定する国会と立法権、内閣と行政権、裁判所と司法権について、三権の関係性を含めて解説する。</p> <p>(4) 日本国憲法の規定の中でも、とりわけ私たちの生活に直接関わる財政と地方自治について解説する。</p> <p>(5) 最後に、日本国憲法の最高法規性を維持するための憲法保障制度について解説する。</p>		
授業科目名	スポーツ健康学	担当教員名	内藤 譲
授業の方法	講義 22.5 時間(15 週にわたり週 1 回 90 分受講)		
キャンパス	岐阜キャンパス	必修・選択	選択科目
単位数	2 単位 (¥5,000)	開講期	前期
授業内容	<p>【到達目標及びテーマ】</p> <p>加齢にともなう体力や身体機能の変化を踏まえた上で、各種運動やトレーニングが身体に与える影響について理解することができるとともに、あわせて生涯にわたり健康的なライフスタイルを送るための意識を養うことができる。</p> <p>【授業の概要】</p> <p>健康的なライフスタイルのあり方を理解するとともに、健康の維持増進に向けた具体的方策として、安全で効果的な運動やトレーニング方法などを、健康科学の観点から学びます。また、自身の体力や身体活動状況の振り返りとして、各種測定や調査等を行う。</p>		